



労働力確保支援 センターだより

第27号

発行：公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
平成28年2月発行



写真説明：(左上) 集合研修・緑の雇用1年生造林実習 (右上) 林業就業支援講習チェーンソー伐倒見学
(左下) 集合研修・緑の雇用1年生チェーンソーメンテナンス (右下) 集合研修・緑の雇用2年生チェーンソーメンテナンス

目次

福島県の林業雇用改善の状況について.....	2	森林再生研修会を開催.....	6
雇用管理研修会を開催.....	3	生産性の向上を目指す取り組み.....	7
林業雇用改善推進会議について.....	4	「森林の仕事ガイダンス2016」に参加.....	8
林業就業支援講習を開催.....	4	福島県認定事業体一覧表(流域別).....	9
雇用定着への取り組み「緑の雇用」集合研修...	5	認定事業体現場作業員採用計画.....	10
就労者のキャリア形成に向けての取り組み...	6		

福島県の林業雇用改善の状況について

最近の認定事業体改善計画実施状況報告書から

本県の森林は、県土の約7割に当たる975千ヘクタールを占め、木材生産をはじめ、水資源のかん養、山地災害の防止、自然環境の保全・形成等の働きを通じて地域経済の発展や県民生活の向上に寄与しています。しかし、福島第一原子力発電所の事故により森林が広範囲に汚染され、森林整備や林業生産活動が停滞し、森林の荒廃や山村地域の衰退が懸念されるため、森林の復興・再生に向けて取り組んでいます。中でも、林業労働力の確保・育成は、復興・再生に不可欠であり、そのためにも雇用改善や事業の合理化に向けた取り組みを行っています。下表は、平成22年度と平成26年度の両年度で認定事業体だった70事業体の改善計画や実施状況報告書をもとに集計したものです。職員数は、約100人ほど減少していますが常用では16人ほど増加しています。なお、職員数は集計時期によって多少の変動があります。

□認定事業体の雇用形態別職員数の推移（福島県）

管内	H23. 3				H27. 3			
	職員数			売上高	職員数			売上高
	常用	臨時	計	単位：万円	常用	臨時/その他	計	単位：万円
県 北	157	10	167	55,403	145	3	148	51,120
県 中	256	67	323	185,537	214	75	289	252,063
県 南	174	73	247	129,557	202	36	238	177,957
会 津	128	136	264	99,419	166	102	268	70,810
南会津	31	49	80	33,680	54	37	91	26,537
相 双	95	12	107	126,806	77	14	91	32,351
いわき	160	75	235	104,450	159	32	191	122,777
合計	1,001	422	1,423	734,852	1,017	299	1,316	733,615

注）H27. 3の実績の中には、休業中の事業体も含まれる。売上高は林業以外にも含まれており参考程度である。

□認定事業体の管内別、保険等の加入状況

区分	労災保険	雇用保険	健康保険	厚生年金	退職金制度
県 北	96%	82%	74%	72%	86%
県 中	89%	74%	68%	68%	57%
県 南	98%	79%	85%	79%	73%
会 津	95%	87%	86%	85%	65%
南会津	93%	64%	54%	48%	48%
相 双	93%	69%	69%	68%	72%
いわき	96%	70%	75%	75%	70%
計	94%	76%	74%	72%	66%

注）事務員と現場作業員の合計での加入率である。出典：H26改善措置実施状況報告書等

は集計時期によって多少の変動があります。

中段左の表の認定事業体の保険等の加入状況は、地域によってばらつきがあり今後とも改善は必要です。

なお、平成26年度の森林・林業白書の資料にある全国の森林組合の平成24年度の加入状況では、雇用保険が68%、健康保険が64%、厚生年金が63%ですので、県の平均はそれを上回っています。



緑の雇用（2年生）造林実習

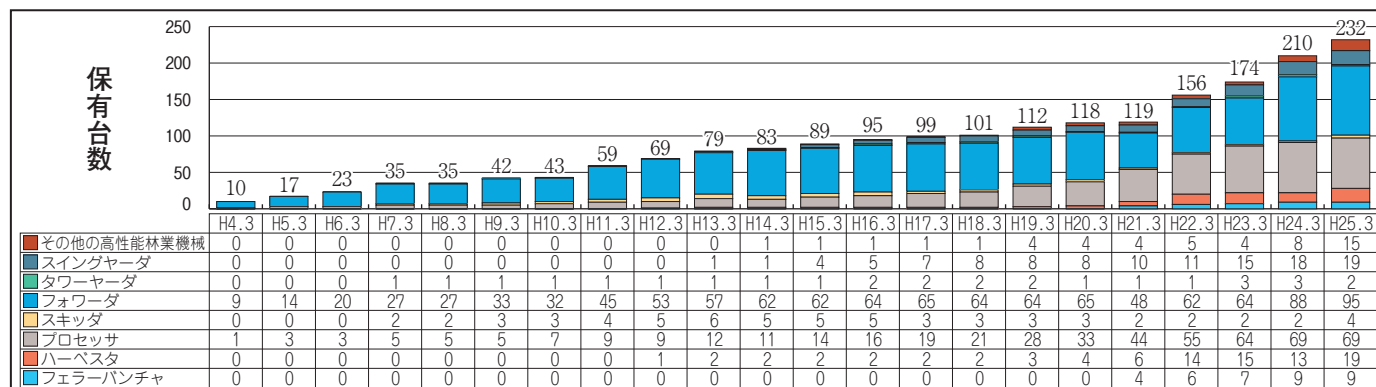
福島県の高性能林業機械保有台数の年度別推移

林業労働の軽減、生産性の向上に欠かせない本県の高性能林業機械の保有状況は、平成4年の10台から右肩上がりに増加し、平成20年3月末の118台から5年後の平成25年3月末には、1.97倍の232台に増加しており、顕著な傾向が見られます。

平成25年3月末の高性能林業機械の種類別の保有台数は、フォワーダ95台、プロセッサ69台、スイングヤーダ19台、ハーベスタ19台等となっています。

また、平成25年3月末の農林事務所別の保有常用では、県北21台、県中41台、県南91台、会津14台、南会津7台、相双27台、いわき31台で、県南地方の保有が際立っています。

資料：（福島森林・林業統計書）



雇用管理研修会を開催

全国森林組合連合会の委託事業である雇用管理改善事業の「雇用管理研修会」を、平成27年11月16日、福島県農業総合センター（郡山市）で開催しました。

事業主や雇用管理者が対象で参加者は29名でした。

はじめに福島労働局職業対策課長 伊東英敏氏に『最近の雇用情勢・福島労働局の取組について』と題してお話をいただきました。主な要旨は以下のとおりです。

- ①本県の9月の有効求人倍率は1.46倍で全国10位、就業地別求人倍率は、1.69倍で全国1位。
- ②高卒の9月末内定率は56.7%で昨年より1.6%下回る。終盤の休みが影響か。
- ③地域別では、県北1.46、県中・県南1.39、会津1.37、いわき1.70、相双2.31で浜通りが高い。人手不足は落ち着いてきている。
- ④ハローワークの相談は4割が在職者。希望する職種がなければ転職しない。
- ⑤労働行政の主要施策は、避難11万人、県外4万人の帰還のための就労支援を重点に。
- ⑥事業主の皆様へ、「よりよい人材確保のための求人条件の見直し」では、求職者が魅力を感じる求人条件の設定として、どんな会社か分かる求人、どんな仕事かわかる求人を推奨。「魅力ある職場づくりへの取組」では、メリットとして、従業員の意欲が高まる、従業員が定着する、会社の業績向上につながる、ことを挙げている。

次に、福島大学経済経営学類教授 熊沢透氏による「ブラック企業にならないために」として講義をいただきました。主な要旨は以下のとおりです。

- ①ブラック企業がはびこる条件は、辞めていく人がいても供給がある職種。林業は供給がない。緑の雇用はかなり対象が少なく、熱心に大事に育てる。
- ②ブラック企業にならないために、まず公正さとコンプライアンスの問題。何をすることが法的に許されないか、を知ること。
- ③自分の苦労を若い従業員にわざと課す。それが本当に必要か。人の扱いは時代とともに変化している。



福島労働局職業対策課長 伊東英敏氏



福島大学経済経営学類教授 熊沢透氏



福島労働局職業対策課長 伊東英敏氏の説明を聞く参加者

トピックス

〈共同改善計画に伴う委託募集について〉

「林業労働力の確保の促進に関する法律」等により、事業主の知名度不足を補い、募集人数等を多くすることによる求職者へのアピール度を高めるため、事業主と支援センターが共同で改善計画の認定を受けた場合、事業主からの委託を受けて募集を行うことができます。

本県では、共同計画を立てている磐城林業協同組合の中の12事業体が募集を行うこととして、支援センターは厚生労働大臣に届け出て、平成28年1月1日から6月30日までの期間で、31名の募集を行っています。

(詳しくは、本協会のホームページで検索)

林業雇用改善推進会議について

厚生労働省福島労働局主催の平成27年度福島県林業雇用改善推進会議が、平成27年8月7日(金)、福島市の福島合同庁舎4階会議室で開催されました。

出席された委員は、学識経験者として福島県森林組合連合会常務理事 遠藤誠寿氏、事業者代表として磐城林業協同組合理事長 平子作磨氏、行政側として福島県農林水産部林業振興課主任主査 佐藤淳氏、同じく福島労働局職業安定部職業対策課長 伊東英敏氏です。

まずはじめに、林業雇用管理改善の取組の現状等について、伊東課長、佐藤主任主査、福島県林業労働力確保支援センター馬場アドバイザーが説明を行った後、遠藤氏、平子氏より各団体における雇用等の現状と今後のあり方について、説明や意見をいただきました。

会議では、地球温暖化に関連して森林整備の方針が間伐から皆伐に変わり大面積伐採の仕事が出ており、そのため特に造林作業を行う人員を確保しないと林業が回らなくなること。即戦力となる作業員の不足が懸念され、他府県の林業大学校のような教育訓練を行う施設や組織が必要であることなどが話されました。



左手前より平子委員、遠藤委員、伊東委員、佐藤委員、事務局の福島労働局佐野係長

林業就業支援講習を開催

林業就業を目指す方々を対象にした厚生労働省委託事業の林業就業支援講習を、平成27年11月9日から12日までの4日間の日程で開催しました。

参加者は、県外から7名、県内から8名（うち女性3名）の計15名でした。

〈講習のカリキュラム〉	
1日目 (11/9)	オリエンテーション
	林業の基礎知識（森林の現状〔管理・保全を含む〕）
	〃（林業の動向〔生産・経営・労働力〕）
	〃（木材産業〔木材需給・木材価格〕）
	安全衛生に関する知識（労働災害の現状と対策）
2日目 (11/10)	〃（林業における健康管理）
	林業作業の体験（チェーンソー作業の見学）
	〃（高性能林業機械の見学）
	〃（枝打ち作業体験）
	〃（丸太切り作業体験）
3日目 (11/11)	林業職場の見学（原木市場）
	〃（木質バイオマス施設）
4日目 (11/12)	講演「林業就業を志すために必要なこと」
	林業への就業・生活相談
	講習の総括・修了者証の交付・アンケート記入

講習の場所は、

- ・1日目：郡山市の「ビッグパレットふくしま」
- ・2日目：午前は、石川郡石川町の「ふくしま中央森林組合」の間伐作業の現場
午後、郡山市逢瀬町の「ふくしま緑の森づくり公社」の造林地
- ・3日目：午前は、郡山市田村町の「福島県郡山地区木材製材協同組合」
午後は、いわき市の「遠野興産(株)」
- ・4日目は：「福島県きのこ振興センター」で行いました。

この4日間で、講習・見学・体験・講演・就業・生活相談等を行いました。見学での説明案内・体験の指導・講演では多くの方々に、懇切丁寧な対応をいただき、そのことでも受講生の就業への意欲が増した講習でした。



2日目枝打ち体験



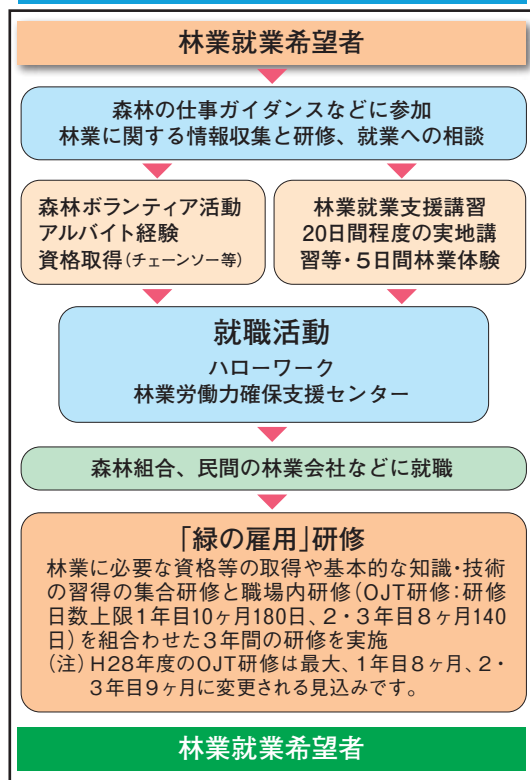
3日目原木市場見学



4日目講話後の記念撮影

雇用定着への取り組み「緑の雇用」集合研修

林業に就業するまでの道のり



◎緑の雇用とは

「緑の雇用」現場技能者育成対策事業は、国(農林水産省)の助成事業で、改善計画の認定を受けた林業事業体(森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等)に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。

◎「緑の雇用」研修生になるには

研修生の要件は、必要な技能が身につけていない方(林業就労経験2年未満)で研修を受ける必要がある方、林業の仕事のある程度理解した上でハローワーク等への求職活動を通し、林業事業体に採用された方、研修終了後5年以上働ける方(60歳未満くらい)で林業に必要な健康状態の方となります。

具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが行っています。

◎集合研修とは

集合研修は、資格取得のための講習や実践実習など多岐にわたります。

労働力確保支援センターが、企画運営を行っており、今年度の研修生の状況、研修日程は右表・下図のとおりです。

平成27年度方部別「緑の雇用」研修生数等

区分	会津	中通り	浜通り	計
1年生	10	18	8	36
2年生	10	15	5	30
3年生	7	6	7	20
計	27	39	20	86
参加事業体	10	14	12	36

平成27年12月末現在



1年生チェーンソー伐倒実習



2年生かかり木処理実習



3年生高性能林業機械メンテナンス

集合研修の年間実施状況(平成27年度)

区分	上旬			中旬			下旬		
5月				刈払機	チェーンソー特別教育		車両系木材伐出機械(講義)	講義	
6月	講義	講義			小型車両系建設機械		メンテナンス(刈払機チェーンソー)	造林	講義
7月	造林	車両系木材伐出機械(実技)		健康管理・森林調査等		メンテナンス(刈払機チェーンソー)	森林調査	育林	間伐
8月		玉掛け							
9月	チェーンソー伐倒		小型移動式クレーン	かかり木	高性能林業機械			チェーンソー伐倒	
10月	荷役運搬	労働災害	不整地運搬車				低コスト化(間伐)	集材機特別教育	労働災害
11月		間伐		森林作業道		車両系建設機械		チェーンソー伐倒	救命

注) 研修の名称は略称で表示してあります。日程・期間の表示はおおよそです。

1年生 35日間 2年生 18日間 3年生 21日間

就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進するためのキャリア形成に必要な知識等を習得する研修会として「森林づくり研修会」「林業人材育成研修会」を開催しました。

林業人材育成研修会

平成27年12月3日(木)、郡山市ホテルバーデンにて開催しました。講師として、京都府在住で京都府日吉町森林組合理事副組合長で森林再生アドバイザーでもある湯浅勲氏に「プロの林業人に知ってほしいこと『湯浅勲の林業実践問答』」と題して講演をいただきました。参加者は当日参加も含めて47名でした。

プロの林業人に知ってほしいこととして、知っているようできちんと知らない①森林・林業の現状とその背景、②森林の基礎となる土壌と気象の話、③間伐の意味と選木方法、を話されました。

やられているようできちんとやられていない④林業労働災害の現実と災害撲滅のことも話されました。

最後にリーダーとしての心得をお話いただきました。



講師の湯浅勲氏



研修参加者

森林づくり研修会



講師の赤堀楠雄氏

平成28年1月13日(水)、郡山市ホテルバーデンにて、林材ライターの赤堀楠雄氏に『木の価値を高めて林業を元気にする』と題して講演をいただきました。参加者は55名でした。

①林業の成長産業化は可能か、②低質材のニーズによる影響、③FIT導入により未利用材・林地残材・製材・合板端材が稼げる原料になってきている、④育林・施業に関する議論の不足、⑤木の価値を高める手法として選別(苗木・間伐の選木、造材、製材課程での仕分け加工製品出荷)の重要性、⑥マーケットをどう作るかでは先進地の事例を紹介され、最後に将来を担う人材育成や住宅の資産価値適性化等から林業・木材産業の好循環を目指したい。とのことで締めくくりました。



◀研修参加者

森林再生研修会を開催



室内研修での高野氏と参加者



現地研修の状況

平成28年1月29日(金)、放射性物質に汚染された森林の再生に必要な知識等を付与し、「ふくしま森林再生事業」に係る知識等も取得するために開催されました。参加者は41名でした。

室内研修は、大玉村農村改善センターにおいて、国立研究開発法人森林総合研究所の放射性物質環境影響評価監、高野勉氏より「森林内の放射性物質動態に関する最新の知見」と題して、放射性物質の基礎知識、森林総研の取組概要、汚染の現状と今後の推移、森林整備に向けた実証事業について等の講義を、続いて、福島県森林整備課主幹兼副課長、柳田範久氏から「福島県の森林・林業再生の取組」と題して、依然として森林整備面積が大震災前の約半分であること、森林・林業への影響、森林整備停滞の影響、「ふくしま森林再生事業」の概要や流れ、施工事例について講義をいただきました。

現地研修は、二本松市吉倉字家老山地内において、県北農林事務所の担当者から、ふくしま森林再生事業の実施状況や放射性物質対策の丸太筋工の採用理由、空間放射線量の施工前後の推移など施工上の留意点について説明を受けました。

生産性の向上を目指す取り組み

林業労働者等研修事業は、林業事業体等の現場責任者等へ、持続可能な林業経営に必要な知識と技術を付与する研修で、以下の研修を開催しました。

高性能林業機械実践研修

高性能林業機械による効率的な素材生産システムの習得のための研修会を、「フォレストパークあだたら森林学習館」及び「いわき市田人町の風越国有林」にて、平成27年9月14日（月）から16日（水）の3日間で開催しました。参加者は21名（延べ74名）でした。

1日目は室内研修として、以下のことを研修しました。

- (1)高性能林業機械の概要（種類）について
- (2)グループ討論・発表「安全な作業のために～災害事例紹介及び対策～」
- (3)高性能林業機械の構造と保守・点検・管理の方法
- (4)林業仕様の可燃物体積による火災警告
- (5)これからの新しい高性能林業機械について

2日目・3日目は、現地研修として、以下の実習を行いました。

- (1)スイングヤードの索張り研修（全員）
- (2)4班にわけての実機操作研修として、以下の作業をローテーションを組んで行いました。
 - ①プロセッサによる造材作業
 - ②スイングヤードによる集材作業
 - ③グラップル付フォワーダによる集材・運搬作業
 - ④実機を使用したメンテナンス作業（オイル交換等）（2日目のみ）
- (3)スイングヤード索張り撤去（全員）



これからの新しい高性能林業機械



スイングヤードの索張り実習



スイングヤードの操作実習



プロセッサによる造材作業実習



メンテナンス実習



フォワーダによる操作実習

森林作業道作設研修



作業道開設状況



丸太組工を設置中の講師・研修生

平成28年1月12日（火）から15日（金）までの4日間、効率的な素材生産システムの基盤である丈夫で簡易な森林作業道を作設するための研修会をいわき市田人町の前山国有林で開催しました。

対象は、初級研修修了者または一定以上の経験と技術を有している方で、さらに土木技術を向上させるフォローアップ研修で、8事業体9名の方が受講しました。

座学として、「研修補助教材2014急傾斜地やぜい弱地での森林作業道づくり」を学んだ後、現地で踏査や土工の基本技術や簡易構造物（丸太組工）の設置等を学びました。

トピックス

〈新規就業者への支援について〉

林業労働力確保支援センターでは、下記のメニューで新規就業者を雇用する事業体への経費の支援を行いました。

- ①特別教育等受講支援
- ②OJT 研修支援

「森林の仕事ガイダンス2016」に参加

全国森林組合連合会主催で、林業に関心のある方に、森林の仕事を紹介する「森林の仕事ガイダンス2016」が、平成28年1月30日(土)、東京都の東京国際フォーラムにおいて開催されました。

今年度も、都道府県ごとにスローガンを掲げ、本県は『「ふくしまの森林・林業復興へのチャレンジ」林業で働く新たな担い手をさがしています』のもとに、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

大阪に引き続いての東京会場には、31都道府県の相談ブースが設けられ、主催者発表で約1,011名の相談者が訪れました。

本県では24名の相談があり、本県の概況や森林林業の特徴・現状・課題、認定林業事業体数や採用予定の状況・ハローワークの求人情報等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。なお、相談者の内訳は男性22名、女性2名でした。東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・栃木県の関東圏の相談者が21名と大半を占め、年齢も30代40代で18名と転職を考えている方が多く相談に来られていました。

このほか、全国森林組合連合会の相談コーナー、緑の研修生交流ブースやハローワーク相談ブース、展示コーナーやオリエンテーションコーナーなどに沢山の方々が訪れていました。

また、「緑の研修生によるトークショー」では福島県の現役研修生3名（有ウツ福生 菊池優子さん、有田部林業 木村一郎さん、有東白林業 木村基さん）が参加し、林業に就業した「いきさつ」や、作業の大変さや楽しさ、「緑の雇用」について等の話をしていました。

なお、3名は、「緑の研修生の交流ブース」において、ガイダンス参加者の相談などを受けていました。



緑の研修生トークショーでの本県研修生



緑の研修生交流コーナーでの状況



本県ブースの相談状況

ガイダンス相談者の状況



トピックス 平成27年度森林林業体験事業を開催

(公社)福島県森林・林業・緑化協会の主催で平成27年9月4日(金)、大沼郡昭和村の御前ヶ岳国有林において県立会津農林高等学校森林環境科2年生15名が参加して開催されました。会津森林管理署より事業概要の説明を受けた後、カラマツの伐倒、高性能林業機械の作業（プロセッサ―・グラップル・フォワーダ）の見学、除伐作業の体験を行いました。

福島県認定事業体一覧表(流域別)

H27.12現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
阿武隈川流域			
1	福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
3	(有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
4	安田林業(株)	安達郡大玉村大字宮ノ前21	0243-68-2220
5	郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
6	(株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
7	田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
8	(有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
9	(有)星林業	岩瀬郡天栄村大字田良尾字鹿野3	0248-84-2307
10	(有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
11	(有)関根農林	石川郡平田村大字西山字川向1	0247-54-2313
12	(有)水野林興	石川郡古殿町大字大久田字越代139	0247-53-3860
13	(有)鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	0247-53-3174
14	ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
15	(株)ミツマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
16	大屋林業(有)	白河市大信限戸字赤仁田1-111	0248-46-3591
17	白米林業企業組合	白河市字会津町93-8	0248-29-8991
18	西白河地方森林組合	白河市字旭町1-244-1	0248-24-1037
奥久慈流域			
19	(有)東白林業	東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野179-1	0247-33-6939
20	東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
21	(有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山字本居伝金288	0247-33-5153
22	(有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中字川前217	0247-35-2324
23	(有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字太子沢21-3	0247-57-5675
24	協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻田10	0247-43-0272
25	(有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
26	真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
27	(有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	0247-42-2409
28	(株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
29	(有)本郷林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2420
30	(有)諸橋林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草2-2	0247-49-2422
会津流域			
31	会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
32	(有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
33	会津北部森林組合	喜多方市字舞台田3128-8	0241-22-1136
34	(有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021
35	(株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
36	西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779
37	(有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
38	栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
39	会津西部林業(有)	大沼郡会津美里町吉田字村中甲173	0242-53-2408

番号	事業体の名称	所在地	TEL
40	10 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
41	11 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
42	12 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
43	13 (株)ヤマシ	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
44	14 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字町下2591-30	0241-82-3120
45	15 和泉田造林組合	南会津郡南会津町和泉稲場5542	0241-73-2330
46	16 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
47	17 南会津森林組合	南会津郡南会津町針生字下宮238	0241-64-5071
48	18 (株)館岩工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
49	19 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
磐城流域			
50	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
51	2 特定非営利活動法人自然環境応援団	南相馬市鹿島区上栴字瀬ノ沢20-1	0244-26-3917
52	3 (有)国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
53	4 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
54	5 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
55	6 (有)中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
56	7 双葉地方森林組合	(暫定事務所) 田村郡三春町大字芹ヶ沢字深作130-2	0247-73-8070
57	8 (株)緑樹	双葉郡川内村大字上川内字町分314	0240-25-8806
58	9 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
59	10 (有)浪江愛林	双葉郡浪江町大字川添字南大坂57-12	0240-34-5259
60	11 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
61	12 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
62	13 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
63	14 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
64	15 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
65	16 いわき愛林(株)	いわき市小川町上小川字片石田111-1	0246-83-2560
66	17 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
67	18 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
68	19 長山林業	いわき市遠野町深山田字新田62-1	0246-89-3999
69	20 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
70	21 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
71	22 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
72	23 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
73	24 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
74	25 (有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	0246-65-2974
75	26 磐城造林(株)	いわき市勿来町関田宮前36	0246-65-4141

注) 番号は、流域ごとに、市役所・町村役場一覧の順に表示しています。

〔認定林業事業体とは〕
林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業主が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画（改善計画）」（5年間）を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業主になります。